

## 千田なつ紀

先生

SendaNatsuki

富山県立中央農業高校

自分の力で  
自信を持って  
進めるように

## 卒

業後、生徒の約6割が就職、約4割が大学や専門学校に進学する本校では、希望者のみが模擬試験を受験していましたが、高校生の習得すべき学力を測るため、2020年度から全員で「基礎力診断テスト」を受験することにしました。教務担当として、生徒が学びに自信を持つ機会にしよう、全国の実践事例を参考に、事前教材の取り組み状況や試験の点数などに応じて付与するポイントをシールにして、教室内に掲示することを始めました。生徒個々の努力が可視化されると、教師が「頑張っているね」などと声を

かけることが増えました。生徒はそれに応えるようにさらに頑張り、その努力は結果にもつながっています。今年度の日本学校農業クラブの全国大会には8人の生徒が出場しましたが、日々の活動を通じて自信がついたからこそ挑戦できたのだと思っています。

英語科担当としては、農業に似しむ生徒が、英語も意欲的に学ぶためのヒントが得られればと、2年前、海外農業研修の引率教員に応募。ニュージールランドの農業現場で感じたのは、英語はコミュニケーションツールであるということです。帰国後は活動中心の授業に転換し、自分の思いを他者に伝えたいという姿勢の育成に力を入れています。将来海外の人の対話が必要になった時、自ら英語を話そうという意欲につながればと願っています。

春には3年間受け持った生徒たちが卒業します。全員が自分でやりたいことを見つけ、就職活動や入試を頑張りました。自分の力で前に進んでいく生徒たちを、笑顔で送り出したいと思っています。



生徒より

**牛** の世話に比べると、正直勉強は苦手です。でも、ポイントシール制によつて、自分が目標を設定しやすくなり、シールが貼られることや先生方から褒められることが励みになっています。先生方の後押しがあったから、農業クラブの全国大会も全力を出し切れて、第1志望の帯広畜産大学に合格できました。「社会では信用が第一」と、提出日やルールに厳しい千田先生ですが、悩んだ時はいつもそばで励ましてくれました。卒業して先生が常に応援してくれる環境でなくなっても、自分の力で目標に向けて頑張っていきます。

せんた・なつき 教職歴4年。同校に赴任して5年目。教務部。英語科。3学年担任。

富山県立中央農業高校  
全日制/生物生産科・園芸デザイン科・  
バイオ技術科/共学/1学年約50人/  
2021年度進路実績(現役のみ)4  
年制大は、富山国際大、長浜バイオ大、  
南九州大に3人が合格。短大・専門学  
校進学13人。就職31人。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル 0120-350455 [受付時間] 月～金8:00～18:00/土8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17